



第 1354 回例会報告

平成26年2月27日(木)晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

アナログ素材のデジタル化

今年の6月に長男の結婚式があります。3年前の次男の披露宴で子供の頃の写真やビデオを使ったので、昔撮った長男の写真やビデオも探しておいてやろうと考えています。写真の方は、私の若い時のカラー写真と違い、息子達の子供の頃の写真の色あせは僅かなもので一安心ですが、動く映像の方は問題があります。長男と次男間に(たった3年の違いですが)大きな違いがあるのです。弟の小さい頃の記録は既にビデオ映像(8ミリ)ですが、兄の方は2,3歳の頃まではフィルム(8ミリ)で記録されているのです。結婚式場には8ミリ映写機や8ミリビデオの再生装置などありませんので、DVD等のデジタル映像に変換しなくてはなりません。手持ちの映写機は35年以上前のシロモノで、なんとか動くもののかかなり危なっかしい状態です。8ミリビデオの方も再生に必要な機器は20年以上前に買ったものです。3年前次男のために引っ張りだした時は何とか使えたのですが、今回も動くという保証はありません。新しく買おうにもとっくに製造中止になっています。

みなさん中にも沢山の貴重なビデオ映像、フィルム映像をお持ちの方がいらっしゃると思います。あの世までは持っていけません、全てをそのまま消滅させるのは残念です。残す価値のあるものだけでも選んで、将来も見る事ができるように、デジタル化しようと思っています。幸

い8ミリビデオの機器の方は、健気にも何とか動いてくれましたのでデジタル化は比較的簡単です。しかしビデオ機器の寿命を考えると、今がデジタル化する最後のチャンスかもしれません。娘や息子達に、パパが撮った小さい頃の姿を残してあげたいと思っています。果たして喜んでくれるかどうかは分かりませんが。

第 1354 回例会

職業奉仕について

会員卓話 大澤邦彦会員

担当 職業奉仕委員会

本日は、久しぶりに大沢会員の沢大節を聞くことができました。記載した原稿は大澤会員から寄せられたものですが、実際の卓話はもっと楽しいものでした。特に後半の稲盛京セラ会長に関する話は大変感慨深く、機会があったらぜひ寄稿いただきたいものと感じました。

■出席報告

会員数	37名
出席対象	36名
出席者数	26名
出席率	72.2%
前回修正	75.0%

■ニコニコBOX

22名	24,000円
累計	806,000円
目標額	130万円
達成率	62.0%

■今週のこぼ

本日卓話をお聞きいただきありがとうございます。久しぶりに緊張しています。

大澤邦彦

久しぶりに大沢親分の怪気炎を期待しています。よろしくお祈りします。

高山巖





ロータリーの誕生は、20世紀初頭に於けるシカゴの街の社会、経済の発展の陰で商業道徳の欠如に堪えかねたポール・ハリスと友人3人で信頼の出来る公正な取引をし、仕事上の付き合いが親友関係に発展し、仲間を増やしたいという趣旨でロータリーが誕生しました。

従って、ロータリー活動の出発点は「会員の事業上の利益の向上」と「親睦の充実」でありました。会員間の取引、物資的相互扶助による事業上の利益の向上を積極的に図りました。

しかし、このことはロータリーが利己的な組織になり、ロータリーが永遠に存続、発展することができるか疑問が生まれてきました。

1911年全米連合会初代会長にポール・ハリスが就任し、ロータリーの理念を確固たるものにするために企業経営委員会を設立、委員長にアーサー・フレデリック・シェルドンをスカウトし任命しました。

彼は、悪い習慣がはびこり、浮き沈みの激しい町で持続し繁栄している企業に共通してみられる特徴がサービスである事を発見しました。単に価格が安いことだけがサービスではなく、経営者や従業員の顧客への態度や気配り、商品や業務に対する奉仕、顧客が感じる満足感と公平感、全てがサービスであり、サービスこそが企業の永続的発展と成功を保証する唯一の方法であることを説いたのでした。所謂、顧客満足度(CS)を最優先とすることです。

このことにより、ロータリーの基本は職業奉仕であることが理解出来ます。ロータリーの綱領2項「事業及び専門職務の道徳的水準を高めること、そして、ロータリアン各自が業務を通じて社

会に奉仕する為にその業務を品位あらしめる事」と銘記されています。このことはロータリーの根幹が職業奉仕にあることを意味し、究極の目標が倫理基準昂揚の運動であることが明らかです。

しかるに昨今の企業経営者の道徳性、倫理観の欠如は目をおおものがあります。阪急、阪神ホテルに端を発した有名ホテル、レストランの食材の偽装表示問題、あるいは地産地消と偽り、中国産うなぎや外国産牛肉の販売等々にモラルの低さを世間に露呈しました。又、消費者が持つブランド志向への信頼感をたくみに利用し、高く売ったり、利益を上げてきました。内部で働く社員は事実を知らず顧客に対して不誠実な対応を迫られ良心の呵責に悩んだことだと思います。

企業のコンプライアンス違反は最近増加傾向にあります。粉飾、汚職、脱税、詐欺、横領等々、これらは法令違反であり犯罪であります。しかし、道徳や倫理の欠如行為は犯罪にはなりません。社会的信頼を失います。

わたしたちロータリアンは、ロータリーの職業奉仕理念を理解し、顧客満足を最優先に企業経営をしなければなりません。